

個 別 事 業 計 画 書

所管部署：企画政策部 交通対策室

(単位:千円)

事業名	J R山陰本線利用促進事業	細事業名		新継区分	継続事業	
総合振興計画 の位置づけ	第3章 人・物・情報を高度につなげる	根拠法令等				
	2 鉄道をさらに便利にする					
	(1)JR山陰本線の複線化					
事業計画期間	平成 24 年度 ～ 平成 26 年度	年度	当該年度における事業の実施内容	当該年度に目指す成果・効果	事業費	
現状の課題	山陰本線における利用者の増加及び園部駅以北の複線化に向けた取り組みが必要である。	各計画年度ごとの事業概要と目標・事業費	平成23年度 予算現額		5,300	
			平成24年度	JRの広報媒体を活用して、南丹市の観光PRを継続的に行う。	南丹市への入り込み客数が増加することで、観光振興とともに山陰本線の利便性向上が図れる。	5,300
			平成25年度	JRの広報媒体を活用して、南丹市の観光PRを継続的に行う。	南丹市への入り込み客数が増加することで、観光振興とともに山陰本線の利便性向上が図れる。	5,300
			平成26年度	JRの広報媒体を活用して、南丹市の観光PRを継続的に行う。	南丹市への入り込み客数が増加することで、観光振興とともに山陰本線の利便性向上が図れる。	5,300
具体的な実施内容	JRの広報媒体を活用して、南丹市の観光PRを継続的に行う。					
事業の目的	観光PRによって乗降客数の増加を図り、園部駅以北の複線化を目指す。					
事業の効果	南丹市への入り込み客数が増加することで、観光振興とともに山陰本線の利便性向上が図れる。					